

月刊 天真

発行日 2015(平成27)年6月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 第459号



法照山浄圓寺開基300年記念法要御礼

昭和63年「NHK特集 寺が消える」という特集番組で、島根県石見地方の過疎化による門徒数の減少により寺院経営が成り立たず、廃寺が後を絶たないという内容で、浄圓寺も取り上げられましたが、何とか細々とではあります年一度の報恩講を勤めてまいりました。その浄圓寺が今年で開基300年を迎え、春爛漫の4月8日「法照山浄圓寺開基300年記念報恩講」を勤めさせていただきました。これ偏に、歴世の住職、坊守をはじめ、法灯を護り、念仏の声を子や孫に伝えるためにご尽力下さった、浄圓寺の世話役さん、ご門徒さん、参拝して下さいました方々のおかげと存じ厚く御礼申し上げます。南無阿弥陀仏 天真寺住職 西原恵照

2015年 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
7 7:00日曜礼拝	8	9 れんげの集い アソカ園ボラン ティア	10 12:30ヨガ教室	11	12	13 10:00 あんのん堂合同参拝 (京都・大谷本廟内) 13:30グランドゴルフ
14 7:00日曜礼拝	15	16 13:30踊り教室	17 壮年会&れんげ会 合同親睦会 (椿山荘東京)	18 【講師】牧野大博(岐阜)	19	20 11:00写経会 13:30定例法話会
21 7:00日曜礼拝 15:00雅楽教室	22	23 13:30踊り教室	24 12:30ヨガ教室	25 9:00ボラン寺 (寺報発送)	26	27 15:00 壮年会法座 「お正信偈に聞く③」
28 7:00日曜礼拝	29	30	〈来月の予定〉 20日(月)「定例法話会」			

天ちゃんの一言

★ 門信徒総追悼法要「永代経」勤修&総会終了 ありがとうございます

5/17(日)総会が無事終わり、午後からは永代経法要が厳粛に営まれました。法要にお参り下さり、総会にご協力下さったご門徒の皆さまには厚く御礼申し上げます。また事前の準備から当日の運営まで、ご尽力下さった役員の皆さまには、心より感謝申し上げます。

★ 壮年会&れんげ会の合同親睦会「ほたるのタベ〜ホテル椿山荘東京」

6/17(水)合同親睦会を開催します。蛍を鑑賞しながら、美味しいお食事を楽しみ親睦を深めましょう。参加費¥5000(残額は会より補助)

★ グランドゴルフ楽しんでます！はじめての方もどうぞ、参加者待ってます

毎月第1・3土曜日の午後1時半より駐車場です。現在12~3名のメンバーです。貸し出し道具もありますので、興味がある方はぜひ一度ご参加下さい。なお今月は第1・2土曜日に変更です。

★ 門信徒会会費の早め、5ヶ年まとめでの納入にご協力下さい！

まだの方は早めをお願い致します。まとめでの納入は寺務の簡便化に大変助かります。ご協力よろしくお願い致します。

門信徒会 入会案内



一緒に浄土真宗のみ教えを聴きませんか。入会随時受付中。

毎月、お寺のたよりと仏教冊子を配布しています。法要や法話会にお参りしましょう。年会費は一戸三千円。



☆毎月25日 寺報発送ボランティア☆
 お寺でボランティアする「ボランテラ」
 月刊天真は門信徒さんで発送しています

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106番地
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp





天真寺ルーツ浄圓寺報恩講参拝と島根の旅

4月7～9日、門信徒会旅行で浄圓寺開基300年の報恩講に参拝させて頂きました。300年間、村の方々に守られて今日まで続いてこられたお寺の報恩講に参拝させて頂き、この上もない喜びでございました。



初日、千葉より10名が羽田より1時間半、出雲空港へ到着、2台のレンタカーにて出雲大社へ向かいました。着いて身を清め松並木の参道を通って、大社には高く掲げる日本の旗がなびいていました。清々しい空気を味わって、満開の桜のもとにて参拝いたしました。私は「おみくじ」を引き、総て善しで大満足でした。「縁」を結ぶ「えんむすびの神」と慕われる故が碑に書いてあり、日本書紀に出雲大社の御祭神大国主大神は幸魂(さきみたま)奇魂(くしみたま)のおかげを頂いて神性を養われ「結びの大神」となられ、生きとし生けるもの全てが幸福になる「縁」を結ぶ「縁結びの神」と慕われる所以との事。私たちは大国主大神、白兔の銅像を眺め、写真を撮り大社を後にして宿泊の三瓶温泉に向かい全員で夕食を頂き楽しいひと時を過ごしました。

二日目、午前中は石見銀山に向かいガイドさんの丁寧な説明を聞きながら町並み見物。その後、満開の桜を左右に山里を眺めながら車は走って走って遂に浄圓寺に到着しました。待っていた下さった方々にお茶を接待頂き本堂に入り読経の流れの中で御先祖様に感謝しながら焼香いたしました。開基300年記念の御品を浄圓寺様より頂きました。高級な御経本、念珠入れでした。大切に使用させて頂きます。さらに天真寺様より天ちゃん入り特注煎餅、石見銀山サブレパイ等数々の御品を頂きました。浄圓寺様、天真寺様、お心遣いありがとうございました。心より御礼申し上げます。

前坊守様もお元気で参拝嬉しく存じました。この日の宿泊は玉造温泉、夕食は「どじょう松花御膳」を皆さんでわいわい賑やかに頂き、「どじょうすくい男踊り」の演芸を楽しみ、その後露天風呂に入り旅の疲れも忘れ休みました。

三日目は、名所旧跡の松江城、小泉八雲記念館、足立美術館の見学です。私は休息しながら歩きついて行きましたが、山陰の旅は初めてで何回も訪れなければわからないと思いました。足立美術館の素晴らしい御庭を拝見し茶室にて見よう見まねで抹茶を頂き疲れを忘れさせるひと時を過ごし、二台の車が携帯連絡をとる時代の便利さを感じているうちに三瓶温泉に着き定刻通り羽田空港に到着しました。私は高齢ですので皆様に優しく支えられながら夢のような日々でございました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

合掌

春うらら先祖しのびし経を聞く
うぐいす鳴く昔を想う報恩講
桜咲く涙流るる浄圓寺

(記:早津絹代さん)

住職の独り言

□東日本復興応援(5/9) 大学時代の友人が企画するイベントに毎年協力しており、先日参加してきました。5/5もう一人の友人と盛岡で合流して釜石入りし、夕食会。5/6追悼法要を勤め、清水寺貫主さんによる一筆と講演会、午後はお蕎麦や抹茶の接待、マッサージの奉仕活動です。私はお蕎麦屋さんをお手伝いし、用意した200食分がすべてなくなりました。主催の京都からの一行は、帰路も20時間余のバス旅。準備運営、後片付けと、ご苦労には本当に頭が下がります。私もこういう機会でお手伝いできて有難いことです。

□いつの日か…(4/26) 今になって歩んできた道を振り返ると、つらく苦しかったことの一つ一つが、今の自分にとって意味があったと知る。逃げ出さず乗り越えよう、いつか力になるから。「忍」他の屈辱や障害を受けても耐え忍んで臆らず、自らの苦しみに遇っても心を動かされず(忍辱)、真理をさとって認証し(忍証)、理の上に心を安んずる(安忍)

●「お正信偈」を一緒に学びましょう!

月例壮年会法座報告



4月25日(土)午後3時より月例の壮年会が開催されました。寺報4月号にて「春からはじめるお正信偈」と掲載の事もあって、多くの門信徒さんが参加下さいました。

いつも来られる方はもちろん、今回は初めての方が多く来られて22名にもなり会場をいつもの部屋から急遽本堂に移動、講師の名種木乃実先生から「正信念仏偈」についての意味等について話があり、ざっくばらんに質問も飛び交い有意義なひと時を過ごしました。終了後お茶を飲みながらお互いに自己紹介、顔見知りも増えました。

やはり皆さんお経の意味、読み方等、知らない事多く興味があるのだなあと感じました。次回以降も「お正信偈」の続きを勉強しますので、初めての方もぜひご参加下さい。ゆっくり進めますので初めて方も大丈夫です。

(壮年会会長 太田さん)



公開壮年会法座 第3回 「お正信偈に聞く」
6月27日(土) 午後3時より 天真寺
参加自由・参加費なし
学びの一步を どなたでも!!

蓮の手入れをはじめました



仏教に縁の深い花である蓮を、昨年より境内で育てはじめました。昨夏には色とりどりの25種類が、見事に咲き揃いました。今年も作業開始の時期を迎え、先日GWに苗の植え替え作業を行いました。一年かけて育った根を取り出しきれいに洗って株分けし、新しい土と水で泥を作り、根を植え込みました。日当たりが重要なので、ふれあい農園に並べて終了です。成長の様子はホームページでご報告しますのでお楽しみに。→「天真寺通信」<http://tenshin.or.jp/>

—仏さまのお話を聴きましょう—

定例法話会



【日時】

6月20日(土)

11:00 写経会
13:30 法話会

【講師】

まきの だいほく
牧野 大博 師
(岐阜・大性寺住職)

どなたでもご自由にお参り下さい

過去帳お供えします年回法要や命日ご縁に

■無料送迎車 お気軽に利用下さい!



12:30小金原マルエツ駐車場→12:40栗ヶ沢公園前→
13:00JR新八柱駅南口メガネスーパー前→13:15新京
成常盤平駅北口福太郎駐車場

※送迎希望の方はお寺までお知らせ下さい

聴聞は他人ごとを

自分のことだと 教えてくれる

篠直

「浄土真宗はお念佛して阿弥陀如来さまに救われるという簡単な仏教だ」という方がいます。言葉の上では当たっていますが、取り間違えると、困ったこととなります。理屈だけわかっても、人ごとであって、我がこととならなければ、救いにはなりません。何故、私が救われるのか、繰り返し、教えを聞き、我が身に引き当てて思いめぐらすことが大事です。

もう一つは、修行も戒律も要らないという意味で、易しい道ですが、それと一対になっているのは、人生の難しさではないでしょうか。さまざまの悩みを抱えていらっしゃる方には申すまでもないことですが、何も心配事が無いという方でも、毎年、交通事故死が数千人、自ら命を絶つ人が3万人以上と聞いて、自分の生き方を考えないわけにはいかないのではないでしょうか。

日々の仕事を精一杯勤める中で、阿弥陀如来さまのお慈悲が有難く味わわれ、お慈悲の中でこそ、自分の勤めを精一杯勤めることができるのです。

前門さま著 浄土真宗一口法話「あけほのすぎ」より